

報道関係各位

**国立がん研究センター、PREMIA 社および Paradigm 社と
共同で、治療開発推進基盤「LC-SCRUM-CD」を開始
～がん患者さんのための個別化医療の確立をさらに推進～**

2024年11月5日

国立研究開発法人国立がん研究センター

Precision Medicine Asia Co., Ltd.

Paradigm Health Inc.

発表のポイント

- LC-SCRUM-CD (Clinical Development) は、LC-SCRUM-Asia における遺伝子スクリーニング基盤を活用して、個別化医療の確立を目指した臨床試験を推進します。
- LC-SCRUM-CD により、製薬企業が日本で臨床試験をより効率的に実施できるようになります。
- Paradigm が米国の医療システムの中で成功を収めた経験が、LC-SCRUM-CD の構築と運営に反映され、医師および病院の負担の軽減と効率的な臨床試験の運用が可能になります。
- この取り組みを通じて、LC-SCRUM-Asia 参加に登録した多くの患者さんに、臨床試験の参加機会を提供し、治療の選択肢を増やすことができます。

【概要】

国立研究開発法人国立がん研究センター（理事長：中釜 斉、東京都中央区、以下「国立がん研究センター」）、Precision Medicine Asia Co., Ltd.（以下 PREMIA）、および Paradigm Health Inc.（以下 Paradigm）は、全国規模の治療開発推進基盤「LC-SCRUM-CD（エルシー・スクラム・シーディー：Lung Cancer Genome Screening Project for Individualized Medicine-Clinical Development）」の開始を発表しました。この基盤は、進行中の遺伝子スクリーニング基盤である LC-SCRUM-Asia を活用し、がん患者さんのための個別化医療の確立を推進することを目的としています。

このプロジェクトにより、世界の製薬企業が主導するより多くの臨床試験を日本に誘致して国内で実施するとともに、臨床試験における患者さん登録の迅速化を図ります。さらに、現在の臨床試験のシステムとそれに関連する作業を簡素化し、臨床試験のコストと時間の削減を目指します。また、がん治療の選択肢を増やし、より多くの患者さんが臨床試験に参加できるような環境整備を目指しています。

【プロジェクト概要】

国立がん研究センター東病院(病院長:土井 俊彦、千葉県柏市)は、年間 500 件以上の臨床試験を実施しており、日本における臨床試験の中心施設です。同院は、全国の約 150 病院が参加する遺伝子スクリーニング基盤である LC-SCRUM-Asia を主導し、PREMIA はそのデータセンターとデータベースの構築を担っています。今回の連携により、PREMIA および Paradigm は、膨大な遺伝子解析結果と臨床データを統合し、さらに最新の臨床試験の情報と照らし合わせることで、効率よく臨床試験の対象となる患者さんを選定して、臨床試験の情報を提供することが可能になります。その結果、国立がん研究センター東病院における臨床試験の実施能力を基盤にして、新規薬剤の治療開発を目指した多くの臨床試験を日本に誘致できる可能性があります。Paradigm による新しいシステムは、臨床試験に関わる全てのプロセスを包括し、それが日常診療とシームレスに統合され提供されるものであり、これにより医師および病院の負担の軽減と効率的な臨床試験の運用が可能になります。

【展望】

今回の取り組みは、日本におけるがん研究および治療の発展において、重要なマイルストーンとなります。国立がん研究センター、PREMIA、Paradigm は、それぞれの専門知識、リソース、最先端技術を組み合わせることで、臨床試験に対する新たなアプローチを構築し、最終的には患者さんの治療成績の向上を目指します。

国立がん研究センター東病院 副院長(経営担当)／呼吸器内科長／LC-SCRUM-Asia 代表の後藤 功一 医師は、「国立がん研究センター東病院は、多くの臨床試験を実施している世界有数の研究機関であり、期待できる治療を求めて日本全国から多くの患者さんが来院します。PREMIA および Paradigm と協力して LC-SCRUM-CD を構築することで、我が国のすべてのがん患者さんが、米国と同じように製薬企業が主導するグローバル臨床試験の情報にアクセスできるようになることを目指します」と述べています。

Paradigm CEO であるケント・トールケ氏は、「今回の提携により、日本における臨床試験へのアクセスが劇的に増加し、短期的には臨床試験に対する患者さんの参加機会を拡大し、長期的には新薬や治療法の開発が加速される可能性があります」と述べています。

国立がん研究センターについて

国立がん研究センターは、「社会と協働し、全ての国民に最適ながん医療を提供する」という理念を掲げ、がん医療、研究、教育において日本をリードしています。同センターでは、日本国内で最も多くの企業治験を実施しており、がん研究コミュニティを牽引しています。

<https://www.ncc.go.jp/jp/index.html>

国立がん研究センター東病院について

国立がん研究センター東病院は、1992年に設立され、年間11,000人を超える新患の方が訪れるがん専門病院です。世界レベルのがん医療の提供と新しいがん医療の創出をビジョンに掲げ、国の「特定機能病院」、「臨床研究中核病院」、「がんゲノム医療中核拠点病院」などに選定されています。数多くのアカデミア、企業が進出し産学連携の医療開発拠点として発展が進む千葉県柏市柏の葉地区に位置し、併設する先端医療開発センター(NCC-EPOC)とともに、国際的なネットワークを基盤とした研究開発の拠点として、先進的ながん治療薬・医療機器開発やゲノム医療をはじめとした個別化治療を推進し、多数の実績を上げています。

<https://www.ncc.go.jp/jp/ncce/index.html>

LC-SCRUM-Asia について

国立がん研究センター東病院は、進行肺がんに対する個別化医療の確立を目的として、遺伝子スクリーニング基盤である「LC-SCRUM-Asia」を2013年に立ち上げました。このプロジェクトは、設立から11年間で約20,000人の肺がん患者さんが参加しており、現在では世界最大規模の肺がんゲノムスクリーニング基盤へと成長しています。さらに、LC-SCRUM-Asiaによって収集された遺伝子解析結果および臨床データは、患者さんのプライバシーを保護しつつ、全国の医療機関および製薬企業に共有され、新規治療薬や体外診断薬の承認に貢献しています。これまでに、新規治療薬11剤と3つの体外診断薬の治療開発に貢献し、早期に臨床現場の患者さんに届けることに成功しました。

また、LC-SCRUM-Asiaは、台湾、マレーシア、タイ、ベトナムといったアジア諸国にもスクリーニング基盤を拡大しており(LC-SCRUM-AP; Asia Pacific)、これらの国々におけるがんの個別化医療の発展にも貢献しています。

https://www.scrum-japan.ncc.go.jp/lc_scrum/index.html

◆参考プレスリリース

- 9月24日付産学連携全国がんゲノムスクリーニング「SCRUM-Japan」第五期プロジェクトを開始、蛍光多重免疫染色解析を導入し、ADC治療開発に貢献(LC-SCRUM-Asia) / 空間トランスクリプトームなどのマルチオミックス解析を導入し、新規治療開発を加速(MONSTAR-SCREEN-3)

https://www.ncc.go.jp/jp/information/pr_release/2024/0924/index.html

Precision Medicine Asia Co., Ltd.(PREMIA)について

PREMIAは、アジアにおける革新的ながん治療薬および診断薬の開発を支援する統合基盤を提供しています。また、日本国内で200以上の病院が参加しているアジア唯一の遺伝子スクリーニング基盤である「LC-SCRUM-Asia」を運営し、大規模な臨床ゲノムデータベースを構築しています。このデータベースには、現在20,000人以上の患者さんが登録されており、効率的な適格患

皆さんの選定と臨床試験への参加を可能にしています。

[About Us | Precision Medicine Asia \(premia-inc.com\)](#)

Paradigm Health Inc.について

Paradigm は、臨床試験への公平な参加機会を提供し、臨床試験の効率化と医療従事者に対する負担の軽減を目指しています。Paradigm は、ARCH Venture Partners によって設立され、主要なヘルスケアおよびライフサイエンス投資家から支援を受けています。Paradigm は、医療提供者の組織に導入される一貫したインフラストラクチャを通じて、臨床試験の障壁を取り除き、より迅速に有効な治療を患者さんに提供することを目指しています。

[Paradigm | Home](#)

お問い合わせ先

- 研究に関するお問い合わせ

国立研究開発法人国立がん研究センター東病院

LC-SCRUM-Asia 研究事務局

電話番号: 04-7133-1111(代表)

E メール: lc-scrum-asia@east.ncc.go.jp

- 広報窓口

国立研究開発法人国立がん研究センター

企画戦略局 広報企画室(柏キャンパス)

電話番号:04-7133-1111(代表)

E メール: ncc-admin@ncc.go.jp

Precision Medicine Asia Co., Ltd.(PREMIA)

コーポレート担当部長

Vivian Liu

vliu@premia-inc.com

Paradigm Health Inc.

広報担当部長

Jacquelyn Miller

jacquelyn.miller@paradigm.inc